

健やか親子21（第2次）重点課題①育てにくさを感じる親に寄り添う 支援の関連要因：生態学的研究

研究分担者 上原 里程（京都府立医科大学地域保健医療疫学）

健やか親子21（第2次）重点課題①の健康水準の指標と環境整備の指標（発達障害をはじめとする育てにくさを感じる親への早期支援体制がある市区町村の割合）との関連性に焦点を当て、生態学的研究を行った。「平成29年度厚生労働省子ども・子育て支援推進調査研究事業『健やか親子21（第2次）』に関する調査研究報告書（平成30年3月、日本家族計画協会）」に示されている都道府県別の平成27年および28年の集計値を用いて、これらの平均値を都道府県別に求めた。得られた値を用いて、健康水準の指標と環境整備の指標との相関係数を求めた。3～4か月児健診時点での育てにくさを感じた時に相談先を知っている割合と環境整備の指標との間に中等度の正の相関が観察された（ $r=0.41$, $p=0.005$ ただし Bonferroni 補正では有意差なし）。関連性の有無については継続的に観察していく必要がある。

A. 研究目的

「平成29年度厚生労働省子ども・子育て支援推進調査研究事業『健やか親子21（第2次）』に関する調査研究報告書（平成30年3月、日本家族計画協会）」（以下、報告書）によれば、乳幼児健康診査で扱う必須問診項目15項目のほとんどは中間評価目標を達成していた。しかし、重点課題①の健康水準の指標である「育てにくさを感じた時に対処できる親の割合」は82.0%（ベースライン時83.4%）にとどまっていた。重点課題①の健康水準の指標と環境整備の指標（発達障害をはじめとする育てにくさを感じる親への早期支援体制がある市区町村の割合）との関連性に焦点を当て、報告書のデータを用いた生態学的研究を行った。

B. 研究方法

報告書には、重点課題①の健康水準の指標および環境整備の指標について都道府県別の平成27年および28年の集計値が示されている

ので、これらの平均値を都道府県別に求めた。得られた値を用いて、健康水準の指標（ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合、育てにくさを「いつも感じる」「時々感じる」割合、育てにくさを感じた時に相談先を知っている割合、【いずれも3～4か月児健康診査（以下、健診）、1歳6か月児健診、3歳児健診】）と環境整備の指標との相関係数を求めた。

散布図から外れ値と判断した1県を除外して、Pearsonの相関係数を算出した。有意水準を5%としたが、多重比較を考慮して有意性を判断した。

（倫理面への配慮）

報告書は個人を対象とした調査研究ではないこと、また研究用としても活用され、一般的に入手可能な情報であることから、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に該当しない。

C. 研究結果

3～4 か月児健診時点での育てにくさを感じた時に相談先を知っている割合と環境整備の指標との間に中等度の正の相関が観察された ($r=0.41$, $p=0.005$ ただし Bonferroni 補正では有意差なし)。統計学的には有意ではないが、1歳6か月児健診時と3歳児健診時の育てにくさを「いつも感じる」「時々感じる」割合と環境整備の指標との間にも弱い正の相関が観察された ($r=0.32$, $r=0.31$)。(図 1-1～図 1-3)

D. 考察

3～4 か月児健診の時点でのみ相談先を知っている割合と早期支援体制に正の相関が見られたことについては、市町村が乳児家庭全戸訪問事業等の機会を活用して相談先の情報提供に努めるなど課題認識を持って早期支援体制の構築を進めることと育てにくさを感じた時に対処できることが関連するという仮説形成が可能かもしれない。

また、1歳6か月および3歳での育てにくさを感じていることに課題認識を有している市町村が早期支援体制の構築に努めたという仮説形成も可能かもしれない。

E. 結論

3～4 か月児健診時点での育てにくさを感じた時に相談先を知っている割合と、発達障害をはじめとする育てにくさを感じる親への早期支援体制がある市区町村の割合に関連があるかもしれない。関連性の有無については継続的に観察していく必要がある。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) 上原里程. 母子保健の現状と課題. 京府医大誌 2019; 128 (11): 779-785.

- 2) 上原里程, 篠原亮次, 秋山有佳, 市川香織, 尾島俊之, 松浦賢長, 山崎嘉久, 山縣然太朗. 次子出産を希望しないことと早期産との関連: 健やか親子 21 最終評価より. 日本公衆衛生雑誌. 2019; 66: 15-22.

2. 学会発表

- 1) 上原里程, 秋山有佳, 市川香織, 尾島俊之, 松浦賢長, 山崎嘉久, 山縣然太朗. 「健やか親子 21 (第2次)」育てにくさを感じる親に寄り添う支援の関連要因. 第78回日本公衆衛生学会総会, 高知 2019. 10. 25. 日本公衆衛生雑誌 (特別附録) 66(10):383;2019.

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

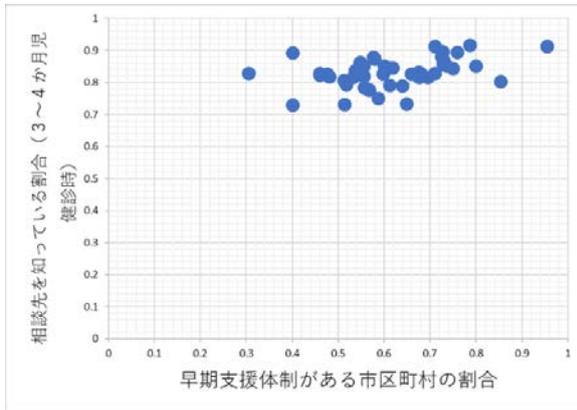
なし

3. その他

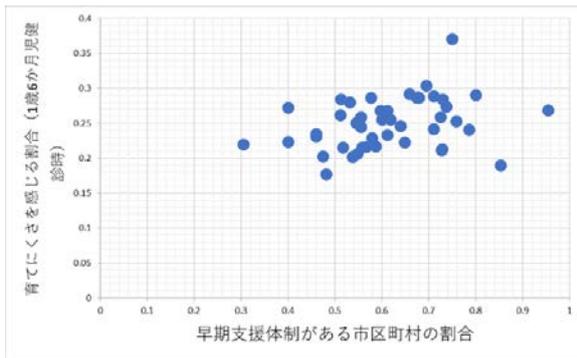
なし

図 1-1～図 1-3：早期支援体制がある市区町村の割合と健康水準の指標との相関（散布図）：
外れ値を除いた 46 都道府県

[図 1-1]



[図 1-2]



[図 1-3]

